



TOPICS

- ・ 秋に向けて！学生コーチの意気込み
- ・ 世界で活躍！
～World port tournament baseball 2017～
～第41回日米大学野球選手権大会～
- ・ 第40回総合関関戦
- ・ 特別企画！
～文武両道～



秋に向けて！

4月1日(土)に開幕した春季リーグ戦は、7勝5敗勝ち点3の第3位という結果に終わってしまいました。しかし、倉川(文2・桜宮)が首位打者賞とベストナイン、太田(文3・乙訓)がベストナインを獲得するなど、新戦力の2人が結果を残し、悔しさの中にもこれからの戦いに期待が持てるリーグ戦だったと思います！

春に悔しい思いを味わった分、選手たちはチームの目標である『全国制覇』達成のため、夏の期間中秋季リーグ戦の準備にしっかりと取り組んできました。2017年のスローガンである『心～やったらんかい～』を胸に、部員全員で1試合ずつ勝ちにこだわっていきたく思います。

常日頃から応援してくださっている方々のご期待に応えられるように、必ずリーグ戦を勝ち抜き、神宮大会出場、そして悲願の全国制覇に向かって全力で戦っていきます！

秋季リーグ戦も関西大学体育会野球部に変わらぬご声援の程、よろしく願いいたします。 マネージャー 中山 司



春季リーグ戦を終えて、チームとしてやってきたことは間違っていなかったと感じました。ただ、優勝できなかったことには理由があるので、それを克服していくことが『全国制覇』への鍵になると思っています。その中で秋季リーグ戦は、4年生の最後のシーズンに懸ける想いに期待したいです。春には就職活動で思うように練習に参加できなかった選手に加え、主力である3年生の力も合わせて存分に発揮させられるようサポートし、1・2年生の新しい力も取り入れて、『全国制覇』へ向け、まずはリーグ制覇を目指して頑張りたいです。



村岡 銀二郎
(人間4・門司学園)

昨年、スタンドで歌う学歌をより良いものにしていこうと取り組んできた結果、春季リーグ戦では理想に近いものになってきました。メンバーに入ることが出来ず、悔しい思いをしてきた選手も、リーグ戦になるとメンバーを全力で応援していました。現在、秋季リーグ戦に向け、部員一人ひとりが何が足りていないのかに気が付いて、チームのあるべき姿や、やるべき事をしっかり理解し、取り組むことができます。ラストシーズンに向け、最高の舞台で最高の形で終わることが出来るように僕自身、選手のサポートなどを含め、チームのために全力を注ぎたいです。



安田 将也
(経4・岐阜東)

チームを支える
学生コーチの意気込み

世界で活躍!

World port tournament baseball 2017

6月30日(金)~7月11日(火)の12日間、オランダ・ロッテルダムにて関西学生野球連盟の選抜チームが日本代表としてWPTB2017に参加しました。関西大学からは代表監督として早瀬監督、中本トレーナー、連盟委員長として吉岡(人間4・検見川)、選手として主将を務めた久米(人間4・大阪桐蔭)、多田(人間3・明德義塾)、山本(人間3・桜宮)が選出されました。

予選ラウンドでは、初戦のキューバ戦に敗れたものの、2戦目以降は硬いグラウンドや縫い目の粗いボールにも慣れ、本来の力を取り戻し、2位で決勝ラウンド進出を決めました。

決勝ラウンド初戦は、前回敗北を喫したアマチュア界最強チーム・キューバとの一戦。序盤に2点を先制するも終盤で同点とされ、試合は延長タイブレーク戦へもつれ込みますが、11回に二死から連打で3点を勝ち越し、試合を決めました!

※ベネズエラの北の沖合い約60kmにあるオランダ王国の構成国

続く、台湾戦は惜しくも負けてしまいましたが、*キュラソー戦では大勝し、決勝を迎えます。

最終戦、決勝の相手は再び台湾。ここまで1勝1敗で迎えた3戦目! 幸先よく先制しますが、逆転を許します。最後まで粘りを見せるものの、惜敗という形で最終戦を終えました。

結果は2位と優勝はできなかったものの、8連戦という過酷な日程の中で選手たちは精一杯戦ってくれたのではないのでしょうか。また、選手たちはこの貴重な経験をチーム全体に伝え、秋のリーグ戦に活かしてもらいたいです。

	日付	対戦相手	スコア
予選ラウンド	7月2日	キューバ	● 4 - 8
	7月3日	キュラソー	○ 5 - 2
	7月4日	台湾	○ 2 - 1
	7月5日	オランダ	○ 7 - 3
決勝ラウンド	7月6日	キューバ	○ 5 - 2
	7月7日	台湾	● 2 - 4
	7月8日	キュラソー	○ 15 - 0
	7月9日	台湾	● 2 - 3



第41回日米大学野球選手権大会

7月12日~18日の期間、アメリカにて第41回日米大学野球選手権大会が行われ、投手の阪本 大樹(経4・履正社)が大学日本代表選手として出場しました。

阪本は中継ぎとしての出場でしたが、大舞台上で自身の力を遺憾なく発揮し、完璧な投球を見せました!

その結果、敢闘賞を獲得するなど、大学日本代表に欠かせない投手となったのではないのでしょうか。

また阪本は8月20日から、台湾で開催される第29回ユニバーシアード競技大会にも出場しますので、引き続き応援をよろしくお願いします!

	投球回	打者	打数	安打	本塁打	三振	四死球	暴投	ボーク	失点	自責点
7月13日	3	10	10	1	0	3	0	0	0	0	0
7月16日	4	15	12	0	0	5	3	0	0	0	0
7月17日	1	3	3	0	0	3	0	0	0	0	0
計	8	28	25	1	0	11	3	0	0	0	0

阪本 大樹 出場成績



侍ジャパンオフィシャルサイト

第40回 総合関関戦

6月18日(日)に、関西学院大学上ヶ原キャンパス第3フィールド野球場にて総合関関戦が行われました。今年で第40回を迎え、節目の大会となる伝統の一戦。スローガンには、関大と関学が観客を巻き込みながら響き合い、高め合うように『響』という文字を掲げ、関学に挑みました。

メンバーには就職活動を終え、本格的に練習に復帰した4年生の選手も数多くおり、応援にも一層熱が入ります！

初回、前田(法4・関大一)が初安打を打ち、チームを勢い付けます。先発投手は、リーグ戦登板経験もある浜田駿(法3・東福岡)。2回を投げ、相手打線を完璧に封じ込め流れを呼び込みます。先制点が欲しい関大は3回、四十田(商4・富山商)と中島(人間4・箕面東)の連打で無死一、三塁と絶好の好機を迎えます！ここで打者は松本拓(法4・岩国)。スタンドからの大きな声援を受け、思いきり振り抜いた打球は右翼線適時二塁打となり、関大が2点を先制します！

その裏からは細かい継投で繋がります。しかし、関学に2点を返され同点となり、その後も1点を追加されて逆転を許してしまいます。

1点を追いかける関大は7回に絶好の好機を迎えます！先頭の四十田が左翼線二塁打で出塁し、続く中島も内野安打で続きます。中島が盗塁を決め一死二、三塁とし、ここで再び松本拓。内野ゴロの間に代走で途中出場の斎藤雅(社安3・三重海星)が好判断で生還！1点をもぎ取り、試合を振り出しに戻します！

その裏から関大はマウンドに占部(経4・広陵)を送り出します。普段の練習から誰よりも熱心に取り組んできた成果を発揮し、見事三者凡退に抑えます。続いて登板した鷹尾(法4・関大一)も無失点で抑え、攻撃に繋がります。8回、関大は谷牧(文4・郡山)が左前安打を放つも得点には繋がらず。9回も、相手投手の好投に阻まれ勝ち越しは叶いません。

その裏、鷹尾と肥後(人間2・広陵)の力投で関学打線を抑え込み、そのまま3対3で引き分けという結果になりました。総合関関戦の最終結果は、15勝17敗4分で関西学院大学の総合優勝となりました。残念ながら野球部は勝利に貢献することができず悔しい結果となりましたが、その分秋季リーグ戦で力を発揮したいと思います！



占部 大輔(経4・広陵)

就職活動をする中で『本気で野球ができるのもあと少し、野球との別れが近づいているのだ』と思うと胸が締め付けられる思いでした。しかし、総合関関戦でマウンドに立ち、色々な人たちの応援を背に投げさせていただいて、野球はこんなにも多くの宝を自分にもたらしてくれていたんだと実感しました。

ラストシーズンに向けて、結果はどうかあれ少しでも上に行くために努力するという誓いを胸に、4年生の投手は阪本大樹だけじゃないと思っていただけるようになりたいと思います！

文武両道

野球部では勉学と部活動の両立を目標とし、部員は日々、部活動に明け暮れながらも勉学にも励んでいます。2~4年生の3学年を対象にアンケートを取り、特に両立している選手に秘訣を聞いてみました！

勉強と野球のメリハリ



普段は練習もあるため正直なところあまり勉強は出来ていませんが、その代わりに試験前は徹底的に勉強をします。法学部は試験が多く、勉強時間は長くなってしまいます。なので、体力的に厳しい部分はありました。しかし、勉強をする時間としない時間をはっきりさせれば、気持ちの面で余裕が出来るようになりました。もちろんそれだけでなく、多くの友人やチームメートの協力も大きな力となりました。多くの人の支えがあり、野球を続けられることが出来たことへの感謝の気持ちを忘れず、学生野球生活のラストシーズンを悔いのないように過ごしたいと思います！

継続は力なり！！



高校の時から「野球だけをやっていても上手くならない」と言われていました。高校時代に勉強をする習慣が自然と身についたことで、大学生になっても勉強が苦になりませんでした。通学中に予習をするなど、勉強にあてる時間を少しでもいいので毎日作るようにしています。この積み重ねていく姿勢が野球にも繋がっていて、野球に取り組む姿勢を日々の学習から学ぶことが出来ました。

両立していくためには勉強の習慣づけが大切です。何事もすぐ出来るようになるものではないので、少しの時間だけでも毎日継続していくことが秘訣だと思います！

自分に最適な睡眠時間！



1日の持ち物はその日の授業の道具と自分が課題としている科目の勉強道具を持参し、空いた時間などで予習・復習を行うようにしています。そうすることで、しっかりと時間を確保し、野球も勉強も精一杯頑張ることができています。

また、睡眠時間においても自分がいつも調子の良い時間を中学時代から把握しているので、授業中に眠くなることはありません。睡眠時間の把握ができれば、勉強面だけでなく野球の時でも常に良い状態で練習に取り組めるので、両立していくにあたって最も大切なことだと思います！

今回、選出された3人はそれぞれ自分に合った勉強法や時間の使い方を確立していたのが印象的でした。3人が話してくれた秘訣はどれもとても参考になるものなので、他の選手たちにきつといい影響を与えてくれると思います。取り上げた3人以外の部員たちも自分の考えを持ち、それぞれ工夫しながら部活動との両立をしています。学校生活も全力で頑張っている選手たちにも応援よろしくお願いします！

編集後記



今回の奪首×Dash! 第29号はいかがでしたか？

春季リーグ戦が終了し、春に出た課題にしっかりと取り組むことができた夏でした。日米大学野球選手権大会、ユニバーシアードやWPTB2017に参加した選手たちが持ち帰った経験も刺激となり、チームにいい影響をもたらしています。そして、就職活動を終えた4年生も続々と戻ってきた今、チームとして最高の状態に近づいてきています！

チームが一丸となり、「全国制覇」を目指して戦っていきますので、温かいご声援をよろしくお願いいたします！